

(令和2年6月試験研究業務月報)

試験研究課題：新品種育成に関する試験(1)系統比較第12群

研 究

宇治茶の新品種育成に向けて

当所では、従来品種より生産性や品質に優れた茶の品種開発に取り組んでいます。

現在は、覆い下用品種の育成を目標に、‘さみどり’、‘あさひ’といった優良な品種を交配^{※1}して作出した32の系統^{※2}の収量性や製茶品質等を調査しています。今年が一番茶期に収穫、てん茶として製茶したものの中には、収量性に優れるものが3系統、製茶品質に優れるものが3系統ありました。今後は、品種登録を目指して、収量性や製茶品質の年次反復調査とともに、障害の発生状況、生育等の調査を進めます。

※1 交配:種子を得るために、雌しべに花粉を受粉させること

※2 系統:種子から育てた茶樹を挿し木で増殖したもので、品種候補となるもの



試料茶の香りや味、外観などを五感を使って検査する

農林センター（茶業研究所）